

10/14～10/15の二日間、県と県工業会が行う人材育成事業の一環として協働実践プログラム(CFRP分野)の講習会・ワークショップが、宮崎日機装株式会社にて行われました。本プログラムには佐土原高校と日南振徳高校の生徒が参加し、佐土原高校からはエコカー部4人の生徒が、エコカーに装着する「カーボンホイール」と「後輪カバー」を、宮崎日機装方々の技術指導を受けながら製作しました。



完成した製品

宮崎日日新聞

2025年(令和7年)10月22日 水曜日

プロの技術「段違い」

日機装でエコカー部品製作

佐土原高、日南振徳高生

宮崎市の佐土原高エコカー部と日南市の日南振徳高機械部の部員6人は、レーシング電気自動車の走行性能向上に向け、宮崎日機装(宮崎市高岡町、竹田浩之社長)で炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製部品を製作した。

県と県工業会が行う人材育成事業の一環。CFRPは軽量化と強度に優れ、同社が手がける航空機部品などの素材に使用されている。生徒たちは15日までの2日間、社員らの指導を受けながら、ホイールやタイヤカバー作りに挑戦。樹脂を染み込ませた炭素繊維のシートを重ねて形を作った後、大型の圧力釜(オートクレーブ)で焼き固めて部品を完成させた。

日南振徳高機械部の2年飯干 柊さん(16)は「CFRP製品が出来上がる過程を見ることができて、貴重な経験になった」と感想。昨年、全国大会で優勝した佐土原高エコカー部の2年井崎唯斗さん(16)は「学校で製作する部品とは精度も

製作したCFRP製の部品を手にする佐土原高と日南振徳高の生徒たち

耐久性も段違い。連覇を目指して頑張りたい」と抱負を語った。

両チームは11月2日に宮崎市で開催される、エコデンスレース県大会に出場する。(野崎亮)

10/22宮崎日日新聞掲載記事